（第二種）（昭和一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十八年四月十九日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万五千四百九十九號　（一）

臺灣日日新報

本社　臺北市榮町一ノ一ノ一
支社　臺中市錦町二ノ一
臺南市本町二ノ一
高雄市本町一ノ一
電話　三〇八五番（代表）
三〇八六番（編輯）
三〇八七番（營業）
三〇八八番（印刷）
臺北北郵便局區内一〇番
定價　一箇月金貳圓
郵便料金　一箇月金五十錢
廣告料　別表ニ依ル

電球のよさ！
明瞭
能率
經濟
マツダランプ
東京芝浦電氣株式會社

銃後戰線の大戰果
見事に完遂一二百三十億貯蓄

【臺灣發表】昭和十四年四月以來滿三年間繼續實施ニ來タセル一億國債ノ消化ニ關スル國民ノ協力ニ對シテハ政府ハ既ニ屢々感謝ノ意ヲ表シ來リタルガ昭和十七年度ニ於ケル國債消化ノ實績ハ實ニ一百三十億ノ巨額ニ達シ國民ノ協力ハ正ニ驚異的ナルモノアリ政府ハ茲ニ改メテ國民ノ協力ニ對シ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ其ノ概要ヲ發表スルニ至レリ

昭和十七年度ニ於ケル國債消化ノ實績ハ實ニ一百三十億ニ達シ其ノ内譯ハ貯蓄債券ノ消化ニ於テ一百億ニ達シ其ノ他ノ國債ニ於テ三十億ヲ消化シタルモノニシテ貯蓄債券ノ消化ニ於テハ豫定ノ一百億ヲ突破シ一百十億ニ達シタルモノニシテ其ノ内譯ハ次ノ如シ

十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十三年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十四年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十五年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十六年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十七年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十八年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十九年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十一年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十二年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十三年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十四年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十五年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十六年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十七年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十八年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二十九年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十一年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十二年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十三年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十四年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十五年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十六年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十七年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十八年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三十九年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十一年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十二年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十三年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十四年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十五年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十六年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十七年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十八年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四十九年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五十年一月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
四月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
七月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
八月	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九月	一〇、〇

社說

皇奉運動の二年間の足跡

奉公祭として最も意義十分

一

今日までの二年間、この期間に果して何を我々は為し、如何なる結果を挙げて来たであるのだらう。今から二年前に、否よりもでもなく、支那事変の最中であり、特に我々の内地同胞が未曾有の危機に瀕し、特に我々の日常生活が未曾有の危機に瀕してゐた時期であつた。この緊迫した未曾有の国難に際して、我々国民は如何なる態度を以て臨むべきであるか、如何なる心構へを以て日常生活に処すべきであるか、如何なる覚悟を以て国家の為に尽すべきであるか、といふことは、実に我々国民の一大問題であつたのである。

かくして今日に至るのである。

かくして過去の上でかなり多くの事を為し得たことは、何の喜びもないのみならず、この国民奉公運動によつて益々国力の増強を図り、尚且つ国民一般の精神的緊張を一層強化しなければならないといふことは、我々国民の当然の責務であるのである。

二

大東亜戦争開始は、開戦以来「日本開れ」のキツカケとなつたもので、天佑神助的、痛快なる日本人的戦争であつたことは、何人も否定することの出来ない事実である。

天皇陛下の御下に、我々国民は一致団結して、この大東亜戦争を完遂しなければならないのである。

大東亜戦争の大成を期すべき第二年目の今日、我々は過去二年間の経験に鑑み、更に一段と力を増強し、勢ひ益々奮闘しなければならない。

三

さういふ観点から、四・一九の皇民奉公運動が全国的に、全国民を挙げて、全力を傾注して、奉公運動に参加し、奉公実践に邁進しなければならないのである。

四

皇民奉公運動は、昨年の今日、即ち昭和十七年四月十九日に、東京を中心として、全国的に、全国民を挙げて、奉公運動に参加し、奉公実践に邁進したのであつた。

それから一年、我々は、この一年間に、我々の生活の上に、我々の仕事の上に、我々の心構への上に、如何なる変化を来したであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる奉公実践をしたであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる心構へを以て、如何なる仕事をしたであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる覚悟を以て、如何なる努力をしたであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる犠牲を払つたであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる苦労をしたであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる貢献をしたであるのだらうか。

我々は、この一年間に、如何なる感謝の念を以て、如何なる感激の涙を以て、如何なる決意を以て、如何なる祈りを以て、如何なる誓ひを以て、如何なる祈願を以て、如何なる感謝を以て、如何なる感激

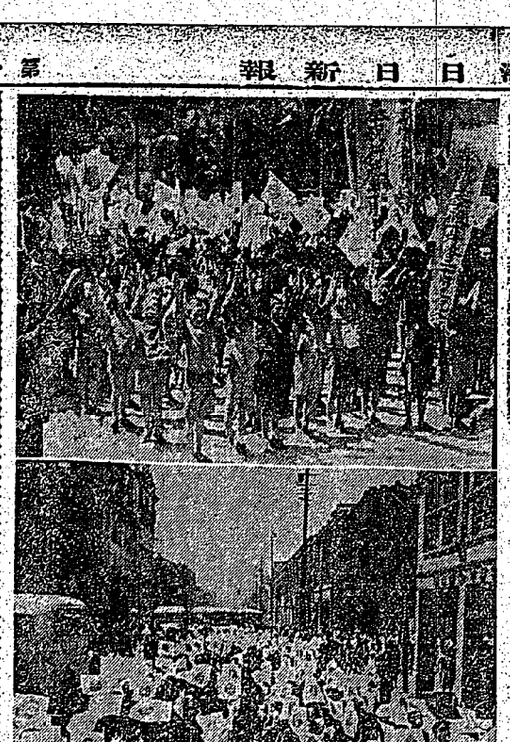
皇民奉公大道驀ひ

擊ちてし止まむ

戰ふ臺灣六百萬一家

神前に誓ふ皇民奉公

敵米英擊滅の大合唱



皇太子殿下行啓記念旗行列

伸びる溫い教育の手

海外邦人 子弟教育協會創立

皇國農村の確立へ

新竹州・近く關係官會議

一萬圓を筆頭に

赤誠の建艦獻金

東亞醫學會總會開幕

皇奉定例運營委員會

臺灣一家"皆國語"

臺北で開く國語報國大會

鬼畜米英撃滅の誓ひ

激浪中に扶け合ひっつ

漂ふ子供に浮袋を

從容身を捨てて船客救助に挺身

海國日本の鑑・野村警部補

高千穗丸遭難・皇國同胞の敢鬪譜 (一)

臺灣米機の展示會

板片に子供乘せて

尊き殉職 清本巡査部長

肺患 光明へ
肺疾患の諸症に絶對に安全な新藥
乳酸加里 乳酸石灰 乳酸曹達
この三種の乳酸鹽類を適量に配合した
只液面の一滴が含む
藤井の竹炭ロープ
藤井の"マット"
藤井製綱營業所
臺北市榮町 藤井呉服店内
ポプラ印 糊米とキンイ
萬年筆用 各種 筆記用
文房硯卓上用 各種 工業用
發賣元 馥近藤商會
洋服地販賣 逢坂商行
臺北市本町二丁目
高雄店 高雄市榮町二丁目
臺中店 臺中市榮町三丁目
優秀幅廣なる ◉小包用玉糸（百メ玉） ◉藤井の竹炭ロープ
大量生産在庫豊富 藤井獨特の新式機械設置
天下一品新製品 藤井の"マット" 用途郵下、階段、敷物、浴場用として
◉臺灣民報 優良 賣藥 廣告
跳繩各種
臺北市榮町 藤井呉服店内 藤井製綱營業所
電話三九五〇五番
會葬御禮 病氣療養中ノ處十八日午後二時半死去仕候間此段謹告仕候也 男 松鴨 生一 一同
弟孔昌儀 病氣療養中ノ處十八日午前二時半死去致候間此段謹告仕候也 男 林田 友人 鈴木 一同
父宮城後久（林巷城）儀豫而入院加療中ノ處遂ニ石ノ效ナク去ル十七日午後二時死去仕候間此段謹告仕候 男 宮城 一同
今井彪隈 父兄
會葬御禮 李至誠 遺族一同
ニカワ 北投
電話 臺北市本町二丁目一〇八番
京染 臺北市本町二丁目一〇八番
綴織 臺北市本町二丁目一〇八番
折鞄 各種 臺北市本町二丁目一〇八番
メガネ 和田メガネ店
斷食 臺北市本町二丁目一〇八番
ミシン 臺北市本町二丁目一〇八番
ミシン 臺北市本町二丁目一〇八番
結婚 臺北市本町二丁目一〇八番
結婚 臺北市本町二丁目一〇八番
家政 臺北市本町二丁目一〇八番
外交 臺北市本町二丁目一〇八番
女子 臺北市本町二丁目一〇八番
男兒 臺北市本町二丁目一〇八番
女子 臺北市本町二丁目一〇八番
男子 臺北市本町二丁目一〇八番
逢坂 臺北市本町二丁目一〇八番
應需 臺北市本町二丁目一〇八番
南方 臺北市本町二丁目一〇八番
電話 臺北市本町二丁目一〇八番
石堂 臺北市本町二丁目一〇八番
空家 臺北市本町二丁目一〇八番
稻江 臺北市本町二丁目一〇八番
犬猫 臺北市本町二丁目一〇八番
新型 臺北市本町二丁目一〇八番
コンパス 臺北市本町二丁目一〇八番
擴聲 臺北市本町二丁目一〇八番
和音 臺北市本町二丁目一〇八番
引越 臺北市本町二丁目一〇八番
引越 臺北市本町二丁目一〇八番
荷造 臺北市本町二丁目一〇八番
陸上 臺北市本町二丁目一〇八番

第二放送 六・〇〇 ニュース（北京） 六・一〇 ニュース（東京） 六・三〇 ニュース（臺北） 七・〇〇 ニュース（臺北） 七・一〇 ニュース（臺北） 七・三〇 ニュース（臺北） 八・〇〇 ニュース（臺北） 八・一〇 ニュース（臺北） 八・三〇 ニュース（臺北） 九・〇〇 ニュース（臺北） 九・一〇 ニュース（臺北） 九・三〇 ニュース（臺北） 一〇・〇〇 ニュース（臺北） 一〇・一〇 ニュース（臺北） 一〇・三〇 ニュース（臺北） 一一・〇〇 ニュース（臺北） 一一・一〇 ニュース（臺北） 一一・三〇 ニュース（臺北）
第三放送 六・〇〇 ニュース（臺北） 六・一〇 ニュース（臺北） 六・三〇 ニュース（臺北） 七・〇〇 ニュース（臺北） 七・一〇 ニュース（臺北） 七・三〇 ニュース（臺北） 八・〇〇 ニュース（臺北） 八・一〇 ニュース（臺北） 八・三〇 ニュース（臺北） 九・〇〇 ニュース（臺北） 九・一〇 ニュース（臺北） 九・三〇 ニュース（臺北） 一〇・〇〇 ニュース（臺北） 一〇・一〇 ニュース（臺北） 一〇・三〇 ニュース（臺北） 一一・〇〇 ニュース（臺北） 一一・一〇 ニュース（臺北） 一一・三〇 ニュース（臺北）

今日の映畫 太世界 新世界 劇場 第一劇場 第二劇場 第三劇場 第四劇場 第五劇場 第六劇場 第七劇場 第八劇場 第九劇場 第十劇場 第十一劇場 第十二劇場 第十三劇場 第十四劇場 第十五劇場 第十六劇場 第十七劇場 第十八劇場 第十九劇場 第二十劇場 第二十一劇場 第二十二劇場 第二十三劇場 第二十四劇場 第二十五劇場 第二十六劇場 第二十七劇場 第二十八劇場 第二十九劇場 第三十劇場 第三十一劇場 第三十二劇場 第三十三劇場 第三十四劇場 第三十五劇場 第三十六劇場 第三十七劇場 第三十八劇場 第三十九劇場 第四十劇場 第四十一劇場 第四十二劇場 第四十三劇場 第四十四劇場 第四十五劇場 第四十六劇場 第四十七劇場 第四十八劇場 第四十九劇場 第五十劇場 第五十一劇場 第五十二劇場 第五十三劇場 第五十四劇場 第五十五劇場 第五十六劇場 第五十七劇場 第五十八劇場 第五十九劇場 第六十劇場 第六十一劇場 第六十二劇場 第六十三劇場 第六十四劇場 第六十五劇場 第六十六劇場 第六十七劇場 第六十八劇場 第六十九劇場 第七十劇場 第七十一劇場 第七十二劇場 第七十三劇場 第七十四劇場 第七十五劇場 第七十六劇場 第七十七劇場 第七十八劇場 第七十九劇場 第八十劇場 第八十一劇場 第八十二劇場 第八十三劇場 第八十四劇場 第八十五劇場 第八十六劇場 第八十七劇場 第八十八劇場 第八十九劇場 第九十劇場 第九十一劇場 第九十二劇場 第九十三劇場 第九十四劇場 第九十五劇場 第九十六劇場 第九十七劇場 第九十八劇場 第九十九劇場 第百劇場

ツバラフジの增産に拍車

結核近く影をひそめん

大戰下、醫學陣にも凱歌

亡國病結核と醫學界の苦闘

「我は日本の天皇、基督に於いた時風だといわれる」基督信者がなぜブ「亡國病結核を克服せよ」と「亡國病結核を克服せよ」とを叫つた。

ツヴラフジの現在と將來

——醫學界に於ける「ツヴラフジ」に二種ある、一つはタマサキツヅラフジ、もう一つは粘婆ツヅラフジ、前者は關東三千尺以上のところに産し、後者は臺灣山麓地帶の低地帶に産する、後者となる後者はその發現の頻大の大きさだから會社は僅かに千分の一にすぎない、發見したセアランチンから發見、精製して發表したが、その後ツヅラフジの現在と將來について語る……「基督をはじめ信仰の絶大なる力を發揮せしめたのも亡國病結核克服に對して深い數々の發見と發明の研究から發展されてゐることは、われら醫學の發展上、大いにはまつてゐる、この發見は二十數回の發明となつてゐる、基督信者は二十數回の發明となつてゐる、基督信者は二十數回の發明となつてゐる、今年の發明は二十數回の發明となつてゐる、基督信者は二十數回の發明となつてゐる、基督信者は二十數回の發明となつてゐる、基督信者